第28回にいがた食の安全・安心審議会　委員からの御意見整理表

第28回審議会において、委員から寄せられた意見・質問のうち、委員から今後の検討を要望されたもの、あるいは、担当課室から今後検討する旨を回答したものを抜粋

No.	議事録P	委員	発言要旨	回答要旨	担当課室	対応区分	対応内容
1	9	北川	・にいがた食の安全インフォメーションについて、若い世代にとっては、デザインが固いと思う。 ・アニメーションや、インスタグラムなど、発信方法を工夫すれば、若い世代も見やすいと思うが、改善予定はあるか？	・現在、にいがた食の安全インフォメーションはリニューアルを予定しています。 ・計画改定の時には、情報の発信方法というのも委員の方から御意見をいただいた上で、改善できるところについては改善していきたいと考えております。	生衛	Ⅰ次期計画に反映	施策７の県の取組内容として、SNS等を活用した分かりやすい情報発信に取り組む旨を記載します。
2	11	小林	・食育ボランティアについて、交通費や多少の謝礼があってもいいかと思うが、いかがか？	・現状、イベントにかかる食材費は主催者側で負担していおりますが、現地までの交通費はボランティアの方の自己負担でお願いしております。 ・現段階では、新たな補助というところまでは考えていない段階です。	食流	Ⅴ次期計画へ反映しない（できない）もの	今後もボランティアには原則無償での取組をお願いします。 なお、食材等に係る経費は、依頼者（主催者）で負担することとしております。
3	11	城	・（食育ボランティアについて）ボランティアの方に参加しやすい環境を整える意味では、交通費くらいはあってもいいと思うので、御検討いただきたい。	－	食流	Ⅴ次期計画へ反映しない（できない）もの	
4	11	田村	・食育ボランティアについて、事故やケガに備えてボランティア保険だけでもかけてはいかがか。 ・栄養教諭や保育士を目指している学生などは、将来的に食育に携わることもあると思うので、食育ボランティア募集の際に、検討してはどうか。	・イベント保険については、県の方で手当てしておらず、主催者側の判断となるものと考えております。 ・食育ボランティアの募集については、アピールの方法を考えていく必要があると認識しております。	食流	【前段】 Ⅴ次期計画へ反映しない（できない）もの 【後段】 Ⅳ今後の検討課題とするもの	・保険については、県で対応はしておらず、主催者側の判断で加入するものと考えております。なお、学校においては、市町村によってボランティア活動に係る保険に加入している事例があると聞いております。 ・食育ボランティアの募集については、県ホームページ等SNSを活用し、多くの方の目に留まるよう周知方法を検討してまいります。

第28回にいがた食の安全・安心審議会　委員からの御意見整理表

第28回審議会において、委員から寄せられた意見・質問のうち、委員から今後の検討を要望されたもの、あるいは、担当課室から今後検討する旨を回答したものを抜粋

No.	議事録P	委員	発言要旨	回答要旨	担当課室	対応区分	対応内容
5	12	佐久間	・容器包装のポジティブリスト制度について、HACCPと同様に事業者への手厚い指導をお願いしたい。	・容器包装のポジティブリスト制度については、今一度、保健所から事業者への発信について検討してまいりたいと思います。	生衛	Ⅱ次期計画に一部反映	容器包装のポジティブリスト制度については、営業施設への監視指導、講習会などのほか、ホームページなどによりあらためて周知を図ってまいります。 また、施策４の県の取組内容として、食品営業者に対し、食品衛生の最新知識の普及に取り組む旨を記載します。
6	15	光永	・（食育ボランティアについて）登録はしているけど実際には活動していない方が多いということで、活動の機会があるとよいと感じた。	－	食流	Ⅳ今後の検討とするもの	食育ボランティアの活動活発化に向け、食育ボランティアとの情報共有を丁寧に行うとともに、食育に関するより効果的な情報発信等について検討してまいります。
7	18	城	・豚熱のワクチン接種について、打ち手の不足がワクチン接種の障害になっているという話もあるので、打ち手の数の確保も含めて、安全対策を進めていただきたい。	－	畜産	Ⅴ次期計画へ反映しない（できない）もの	豚熱ウイルスは人に感染しないことや、豚熱の発生防止対策については、県のホームページに掲載し情報を発信しています。次期計画の本文には記載しませんが、引き続き、豚熱に関する情報提供に取り組んでまいります。
8	18	城	・認証GAPの取得農場数について、目標値が高すぎると到達が困難となるので、現状に合わせた目標設定にしていただき、引き続き努力していただきたい。	－	経普	Ⅰ次期計画に反映	これまでは継続を断念した農場も含めた認証ＧＡＰ農場の実数値を目標としていましたが、審議会において現状に合わせた目標とした方が良いとの意見があったことから、今後は直近の新規取得農場数を踏まえ、新たに認証ＧＡＰを取得した農場数を目標値とします。 【参考】 直近４年間（R3～R6）の新規取得農場数：53農場
9	20	小見	・認証GAPの数を目標に置くこと自体は否定しないが、高すぎる目標にすると達成困難が想定されるため、目標値の設定についてはご検討いただいた方がよいと考える。	・生産場面でのGAPの推進については、JAグループさんと一緒に進めていきたいと考えております。 ・目標値の設定については、意見交換させてもらいながら、次期指標について検討させていただきます。	経普	Ⅰ次期計画に反映	

第28回にいがた食の安全・安心審議会　委員からの御意見整理表

第28回審議会において、委員から寄せられた意見・質問のうち、委員から今後の検討を要望されたもの、あるいは、担当課室から今後検討する旨を回答したものを抜粋

No.	議事録P	委員	発言要旨	回答要旨	担当課室	対応区分	対応内容
10	24	田村	・食中毒に関して、患者数をモニターすることになると、もっと危機意識や普及啓発に関する事項などを盛り込んだ方がよいのではないか。	・委員ご指摘のとおり、普及啓発は非常に大事だと考えておりますので、県民や営業者向けの情報発信をしっかり対応していきたいと考えております。 ・また、HACCPについても、食品衛生協会と協働して、営業施設の業種や規模に応じたHACCPの取組を引き続き推進してまいります。	生衛	Ⅰ次期計画に反映	・施策７の取組指標として、「食中毒に関する情報」のホームページのPV数を設定するとともに、様々な取組を通じて、この指標を伸ばしてくことを記載します。
11	26	小林	・新しい重点取組のリスクコミュニケーションの推進について、消費者の理解向上のためにどのような方法を検討しているか。	・これまで取り組んできたきのこ講習会等の一般消費者向けの意見交換会については、食品衛生協会やサポーターと連携して引き続き取り組んでまいりたいと考えております。 ・また、こどもや食の安全に関する意識が高い子育て世代に向けた取組については、教育現場と連携した展開を検討していきたいと考えております。	生衛	Ⅱ次期計画に一部反映	・施策８の県の取組内容として、地域意見交換会を明記し、こどもや子育て世代に向けた内容となるよう工夫して取り組む旨を記載します。
12	29	北川	・新潟県内で生産等された食品が安全だとは思わないと回答した方について、その理由を掘り下げられるような質問項目になるとよいと考える。	・今後、アンケートの設問を検討する際には、いただいたご意見を反映して作成につなげていきたいと考えております。	生衛	Ⅳ今後の検討とするもの	・アンケートに関するご意見ですので、次期計画本文には記載いたしませんが、今後アンケートを作成する際に、検討させていただきます。

第28回にいがた食の安全・安心審議会　委員からの御意見整理表

第28回審議会において、委員から寄せられた意見・質問のうち、委員から今後の検討を要望されたもの、あるいは、担当課室から今後検討する旨を回答したものを抜粋

No.	議事録P	委員	発言要旨	回答要旨	担当課室	対応区分	対応内容
13	31	斎藤	・消費者に対して、事業者がHACCPの取組により安全な食品を提供していることをもっとPRしてほしい。	－	生衛	Ⅰ次期計画に反映	・施策７の県の取組内容として、HACCPをはじめとする食品関連事業者による衛生管理の取組について、消費者への情報提供に取り組む旨を記載します。 ・また、同じく施策７において、食品関連事業者に期待される役割として、「自ら行っている食の安全・安心に関する取組や食品の情報について積極的に公開し、消費者への情報提供に努める」と記載されていることから、引き続き、食品関連事業者自らによる情報発信についても促してまいります。
14	34	城	・（HACCPについて）引き続き、少しでも認知度があがるように取り組みをお願いしたい。	－	生衛	Ⅰ次期計画に反映	・施策７の県の取組内容として、HACCPをはじめとする食品関連事業者による衛生管理の取組について、消費者への情報提供に取り組む旨を記載します。 ・また、同じく施策７において、食品関連事業者に期待される役割として、「自ら行っている食の安全・安心に関する取組や食品の情報について積極的に公開し、消費者への情報提供に努める」と記載されていることから、引き続き、食品関連事業者自らによる情報発信についても促してまいります。